

水車



平成30年5月1日

自分たちの力で、よりよい学校に

木々の若葉が目眩しい季節を迎えました。その緑を背景に、伊佐見小学校の子供たちの成長を見守っている「森の水車」が、今日も休みなく廻り続けています。

伊佐見小学校の一日は、元気な挨拶で始まります。毎朝、6年生の子供たち、生活安全委員会や企画委員会の子供たちが玄関前に立ち、登校してくる子供たちに、「おはようございます。」と声を掛け、笑顔で迎えています。登校してくる子供たちの中には、上級生よりも先に挨拶ができる子供もいて、嬉しい気持ちになります。

4月20日の全校児童集会では、6年生の各委員会の委員長が本年度の活動を紹介し、力強く決意を述べました。どの委員長の発表もとても立派で、感心をしました。また、その話を全校児童が落ち着いた雰囲気の中で拍手を送りながら聴いている様子を見て、改めて、今年一年の子供たちの活躍や成長が楽しみになりました。

新年度が始まって1か月。この間、「自分たちの力で、伊佐見小学校をよりよい学校にしていきたい。」という子供たちの気持ちが、発言や行動に表れていました。これからも、こうした気持ちを大切に、学校生活を通して子供一人一人が力を伸ばし、伊佐見小学校が、さらに温かく活力ある学校になっていくよう支援をしていきます。

(校長 尾田 聡弘)

『ようこそ ぼくらの伊佐見っ子 いっしょにふみだす あらたな一歩』

これは、4月27日に行われた1年生を迎える会のスローガンです。1年生が入学してから、6年生は朝の準備を手伝いに毎日のように1年生の教室へ行ったり、昼休みに一緒に遊んだりしています。また、2年生以上の子供たちの多くが、近所の1年生の子供たちと登下校で手をつなぐ「カルガモ登校」をして、伊佐見っ子みんなで1年生を温かく迎え入れています。

1年生を迎える会当日まで、昼休みなどの時間を使い、6年生の実行委員を中心にゲームや進歩の練習・プレゼントづくりを行いました。1年生のために、一生懸命に力を尽くす姿は、とてもすばらしいものでした。

愉快的な仲間たち(ナウマン・水車・ウナギン・カワセミ)の挨拶や「落ちた落ちた」「こっち向いてホイッ」「じゃんけん列車」ゲームなどをして、みんな笑顔いっぱいでした。伊佐見っ子みんなで手を取り合うすてきな会になりました。



(委員会担当 井口 雅晶)

1学期の自由参観日は、毎週火曜日です。